

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」 阪急桂駅前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		年齢・特性に合わせて対応している。	法令を遵守したスペースの確保を行っている。
	②	職員の配置数は適切である	○			適切な人数を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		フルフラットな床面でバリアフリー対応できている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○	毎日の手入れと週一回の清掃を行っている。	空気清浄機などの定期清掃を行っていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日常的な相談、会議により業務改善に努めている。	P D C A サイクルの本格導入に至っていないが日々協議を重ね業務の改善に努めている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		定期的を実施し、保護者のニーズ確認と業務改善に努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			評価結果は事業所内に掲示した上で当社HPで公表している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は利用者、事業所の二者評価となっている。今後必要に応じ第三者による外部評価について引き続き検討している。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内では初任者研修や全職員対象の定例研修を実施しており、行政等外部の研修にも積極的に参加している。	
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的にあセスメントを行い保護者からのヒアリングに基づきサービス計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			社内統一の様式にもとづき、目標ごとの達成度と課題を踏まえて評価している。

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			適宜アセスメントをもとに複数の項目を組み合わせるサービス計画を作成している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画を保護者と共有し、それに沿った支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	必要に応じて適宜相談は行っている。	基本的には担当指導員が立案しているが共有作業などは行っている。全社的なノウハウの蓄積システム「支援の工夫集」も整備している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		長期的な取り組みで固定化しないように、指導員同士で共有などしている。	一人一人のニーズにあわせオーダーメイドの療育を行っている。毎回のフィードバックで保護者の声も十分に伺っている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別活動により支援計画を作成しているが、小集団療育も行っており考慮している。	保護者とも協議し、集団活動にお悩みの利用者には、特に小集団療育を取り入れた計画を作成している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	朝礼や定期的なミーティングなど情報共有を心掛けている。	基本的には個別支援ではあるが、必要時は適宜役割分担など確認していく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	朝礼や定期的なミーティングなど情報共有を心掛けている。	緊急課題を除き、必要時に適宜情報を共有していく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記入漏れが無い確認できるシステムを利用している。	社内の統一書式で毎回必ず記録をとり、支援に生かしている。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		チェック表などを使用して漏れないよう心掛けている。	計画期間（6か月）ごとにモニタリングを実施し、それに基づきサービス計画見直しをしている。
	関係機関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			必要に応じて保護者の理解を得て関係機関と連携している。

保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		現在のところ対象者無し。	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在のところ対象者無し。	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		事業所内相談支援時に要望を確認するようにしている。	保護者の要望と園側の子承があれば連携を取っている。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		事業所内相談支援時に要望を確認するようにしている。	必要時は適宜対応していく。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		自立支援協議会児童部会運営委員として連携に努めている。	情報の共有などに努めている。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			現在は交流できていないが、多様な意見があることから保護者の希望を十分に伺い交流の在り方を検討していく。
保護者への説明責任等	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		行政区や学区の協議会に定期的に参加している。	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		フィードバックや事業所内相談支援の際に保護者のお声をしっかり伺い、課題等に関する情報を共有している。	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		小集団療育に合わせて定期的に行っている。	
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明するほか、事業所に運営規程等を掲示している。	
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		アセスメントをもとに複数の項目を組み合わせサービス計画を作成している。 内容の説明を行い、必ず同意を得ている。	

	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		事業所内相談支援や、フィードバック時など、定期的・継続的に保護者の子育ての悩み等の相談に応じている。		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			小集団療育時にペアレントトレーニングなどを通じて保護者相互の情報共有や連携促進に努めている。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			管理者が苦情相談窓口になり、苦情や相談があれば迅速、適切に対応している。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			会報等は発行していないが、ブログを定期更新するほか、必要に応じ保護者へのお知らせを配布している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			パスワードの設定、鍵付き書庫、シュレッダーの利用、職員研修等により個人情報の保護に努めている。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			特性に応じたアプローチを工夫している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		個別療育であり個人情報保護の制約もあるが、自治会にも加入しており、地域交流の手法等は検討していく。	
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			マニュアルを作成し、それに基づく対応に努めている。
		④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的に各災害に合わせ、毎月避難訓練等を実施している。
		④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			来所時の様子や指導時の声かけにより状況確認に努めている。
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食事やおやつ提供はしていないが、対策は講じている。	
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書を作成・保管している	事例発生の場合は上司への報告、職場での情報共有を行い、再発の防止に努めている。	

④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止委員会を設置し、定期的に内部研修を実施、行政等の外部の研修にも参加している。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			マニュアルを策定し研修を実施、やむを得ず身体拘束の必要が生じるお子さまについては保護者のご理解を得たうえ個別支援計画に明記している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」阪急桂駅前校

保護者等数（児童数）：14 回収数：12 割合：86%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12				1対1で一部屋、広い場所で支援して下さっています。	年齢・特性に合わせて対応している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11			1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11			1		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1		2	地域支援については不明。	現在は行っていないが、自治会にも加入しており、地域支援の手法等は検討していく。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	1	7	交流は行われていないと思うが、様子見学は対応して下さい。	現在は交流できていないが、多様な意見があることから保護者の希望を十分に伺い交流の在り方を検討していく。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11			1		

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	6			6	小集団に参加している保護者向けは行われている。	プログラム・内容など保護者の意見も反映させて、より充実した良い支援を心掛ける
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12				事業所内相談支援で、ゆっくりと伝え合う時間がある。	今後とも、定期的に事業所内相談支援などを行い、日々のコミュニケーションもしっかりと図っていく。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2	8		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	2		5		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11			1		
	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6	1	1	4		
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6	1	1	4		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	2		7		
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。